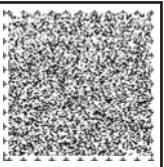


3 指標一覧

改定後ビジョンの指標	現状値		目標値 (R12)
子供・子育て			
安心して妊娠・出産、子育てができると 思う者の割合	R6	73.8%	84.0%
悩みごとがあるとき、だれにも相談できない、 相談したくないと回答した子供の割合	R5	小学5年生:4.8% 中学2年生:7.3%	小学5年生:2.4% (R10) 中学2年生:3.6% (R10)
体罰等によらない 子育てをしている親の割合	R6	81.3%	90.0%
教育			
「遊び 学び 育つひろしまっ子!」推進プランに 掲げる5つの力が育まれている年長児の割合	R6	82.5%	85.0%
「主体的な学び」が定着している 児童生徒の割合	R6	小:74.5% 中:65.4% 高:68.2%	小:80.0% 中:80.0% 高:80.0%
全国学力・学習状況調査において 学力に課題のある児童生徒の割合	-	-	小:25.0% 中:25.0%
特別支援学校高等部卒業時に、自立や社会参加に 向けた進路決定ができたと考えている生徒の割合	-	-	100%
発達段階に応じた情報活用能力を 十分に身に付けている児童生徒の割合	-	-	小:60.0% 中:60.0% 高:60.0%
県内大学等の定員充足率	R6	91.4%	100%
健康			
健康寿命の延伸	R4	男性72.13年 女性75.85年 〔 全国平均 男性 72.57年 女性 75.45年 〕	全国平均を上回り、 平均寿命の伸び以上に 延伸 (R10)
医療・介護			
広島都市圏の基幹病院が実施する 先進医療技術件数	R6	15件	26件
県内医療に携わる医師数	R4	7,525人	7,378人
医療や介護が必要になっても、 安心して暮らし続けられると思う者の割合	R7	31.8%	65.0%
地域共生社会			
困りごとや悩みに対して地域の方向士での 助け合いができている人の割合	R6	23.5%	57.0%
「広島県は、お互いの人権を尊重し合う ことができている」と感じる人の割合	R6	36.0%	42.0%
防災・減災			
河川氾濫により床上浸水のお それのある家屋数	R6	約16,750戸	約16,000戸
土砂災害から保全される家屋数	R6	約131,000戸	約135,000戸
緊急輸送道路の防災対策完了率	R6	34.8%	59.1%
避難の準備行動ができている人の割合	R6	26.8%	42.0%
防災人材の育成数	R6	29人	42人
スフィア基準等を踏まえた 避難所開設・運営訓練の実施市町数	R7	3市町	23市町
治安・暮らしの安全			
刑法犯認知件数	R6	14,675件	12,000件
体感治安 (治安良好と感じる県民の割合)	R5	88.4%	90.0%
安全・安心な消費生活を送ることが できていると思う人の割合	R6	54.9%	61.0%
食中毒による死者数	R6	0人	0人
収支が黒字の水道事業体数	R6	7事業体／8事業体	8事業体／8事業体

ひろしまビジョン改定版

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/230/hiroshimavisionkaitei.html>



策定：令和2（2020）年10月
改定：令和8（2026）年6月
広島県総務局経営企画チーム
〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL 082-513-2396
FAX 050-3156-3479

改定後ビジョンの指標	現状値		目標値 (R12)
環境			
温室効果ガス排出量（削減率）	R3	4,725万 t (▲19.9%)	3,574万 t (▲39.4%)
大気環境基準達成率 （二酸化硫黄、一酸化炭素、二酸化窒素）	R6	100%	100%
水質環境基準達成率 （重金属等有害物質）	R6	100%	100%
ダイオキシン類環境基準達成率 （大気、公共用水域、土壌）	R6	100%	100%
3品目（ペットボトル、プラスチックボトル、 レジ袋）の海岸漂着物量	R6	1.5 t	1.06t
産業廃棄物の再生利用率	R5	70.5%	71.2%
「暮らしている地域では、身近に 自然を感じることができる」の偏差値	R6	53.1	54.2
環境保全活動に取り組んでいる 県民の割合	R5	69.8%	75.0%
観光			
観光消費額	R6	5,918億円	8,000億円
観光客の満足度	R6	79.9%	90.0%
観光地としての広島県を 誇りに思う住民の割合	R6	60.6%	90.0%
スポーツ・文化			
スポーツを楽しむことを 誇りに思う県民の割合	R7	61.9%	65.0%
週に1日以上スポーツ実施率	R7	50.3%	65.0%
文化芸術に親しみ、生活に安らぎや 幸せなどの豊かさを実感している県民の割合	R6	58.5%	63.5%
広島や地域に愛着や誇りを感じる 文化芸術があると感じる県民の割合	R6	49.6%	53.4%
平和			
核兵器廃絶に向けた国際的な合意形成	R6	合意形成に向けた 働きかけを実施	多国間枠組みに核兵器国を 含む全ての国が参加
働き方改革・多様な主体の活躍			
リスクリングや女性活躍、働きがい向上など、人への投資に 取り組み、経営上の成果が現れている企業の割合	R6	21.9%	30.0%
産業イノベーション			
県の取組による付加価値創出額	R5	2,364億円	5,000億円
農林水産業			
農業産出額（畜産物除く）	R6	906億円	976億円
広島血統和牛の取引額（広島食肉市場）	R6	8.6億円	12.4億円
県産材（スギ・ヒノキ）生産量	R6	38.9万㎡	40万㎡
かき生産量	R6	16,900 t	17,000 t
海面漁業生産額	R5	68億円 (R1～5平均)	70億円 (R8～12平均)
持続可能なまちづくり			
居住誘導が進展している市町数	R7	12市町	20市町
公共交通の機関分担率	R6	19.9%	20.0%
防災上危険が懸念される 地域の居住人口	R6	108.9千人	100千人
自然と都市の魅力を享受し、質の高い 暮らしができると感じる県民の割合	R6	53.2%	70.0%
中山間地域			
地域コミュニティ活動が展開できている 住民自治組織の割合（全域過疎市町）	R7	74.8%	75.0%
働くところが少ないと感じる 中山間地域の住民の割合	R6	73.2%	70.0%
生活を満足と感じる 中山間地域の住民の割合	R6	41.1%	60.0%
地域で支え合う新たな交通サービスを 交通計画に位置付け、取組を進める市町数	R6	12市町	19市町
交流・連携基盤			
広島空港利用者数	R6	287万人	494万人
年間渋滞損失時間	R6	4,180万時間	3,000万時間
クルーズ客船観光客による推計消費額	R6	488百万円	846百万円
輸配送のために必要な人材を確保 できている県内トラック運送事業者の割合	R7	36.3%	41.0%
県内港におけるコンテナ取扱量	R6	35万TEU	48万TEU

広島県

概要版

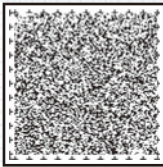


仕事も暮らしも。
里もまちも。
それぞれが望む
ライフスタイルの実現

安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています

改定版



1 改定の趣旨

- 広島県では、令和2年に「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を策定し、目指す姿の実現に向けて、県民をはじめ、企業、国・市町等の皆様と一丸となって取り組んできました。
- この度、これまでの取組の成果や社会経済情勢の変化などを踏まえ、ひろしまビジョンを発展的に見直し、県民の皆様と一緒に、新たな広島県づくりを推進していきます。
【期間：令和8年度から令和12年度（5年間）】

ひろしまビジョン策定後に顕在化した、特に考慮が必要な情勢変化

- 想定を上回るペースで進む人口減少
- 急増する県内の外国人労働者や海外からの観光客
- 急速に革新・普及が進むデジタル技術と関連産業の発展
- 自然災害の激甚化・頻発化や顕在化したリスクへの対応
- インフレ傾向と賃金上昇の兆し、不確実性の高まる国際・経済情勢

2 主な改定のポイント

● 目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性の設定

- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」（H27改定時）において位置付けた「ファミリー・フレンドリー」を、社会経済情勢の変化を踏まえた取組に深（シン）化させ、これまで以上に進（シン）展、浸（シン）透させることで、将来にわたって誰もが暮らしやすい、ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても、魅力的に感じてもらえる広島県を実現することとし、「シン・ファミリーフレンドリー “家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”」を目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性に据え、次の5つの柱で施策を行っていきます。

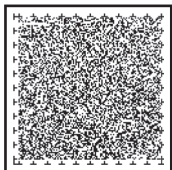
《目指す姿の実現に向けた5つの施策の柱》

- 「未来を担う人づくりと、安心して子供をもち育てられる社会づくり」
- 「心身ともに健康で、安全・安心な生活を送ることができる環境づくり」
- 「あらゆる世代が楽しみ、地域に誇りを持つことができる魅力づくり」
- 「多様な主体が、生き生きと働きがいをもって活躍できる仕事づくり」
- 「都市と自然の近接性を生かした、適散・適集な魅力ある地域づくり」

● 今後5年間で特に注力する重点項目の設定

- 様々な社会経済情勢の変化が起こる中でも、とりわけ、想定を超えるスピードで進行する人口減少は、生産年齢人口の減少による経済活動の縮小や、地域の担い手不足など、本県の社会・経済に深刻な影響を与えるおそれがあります。
- このため、ひろしまビジョンの折り返し後の5年間においては、人口減少の抑制と持続的な地域社会・経済成長の実現に向けて、「シン・ファミリーフレンドリー “家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”」の考え方に基づき、

「若者に選ばれる広島県」
「女性に選ばれる広島県」
「子育てしやすい広島県」
「強固な社会経済基盤の確立」
「広島の財産と経験の継承」の5つを重点項目として取組を進めていきます。



表紙の写真提供：一般社団法人広島県観光連盟

基本理念

将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

目指す姿

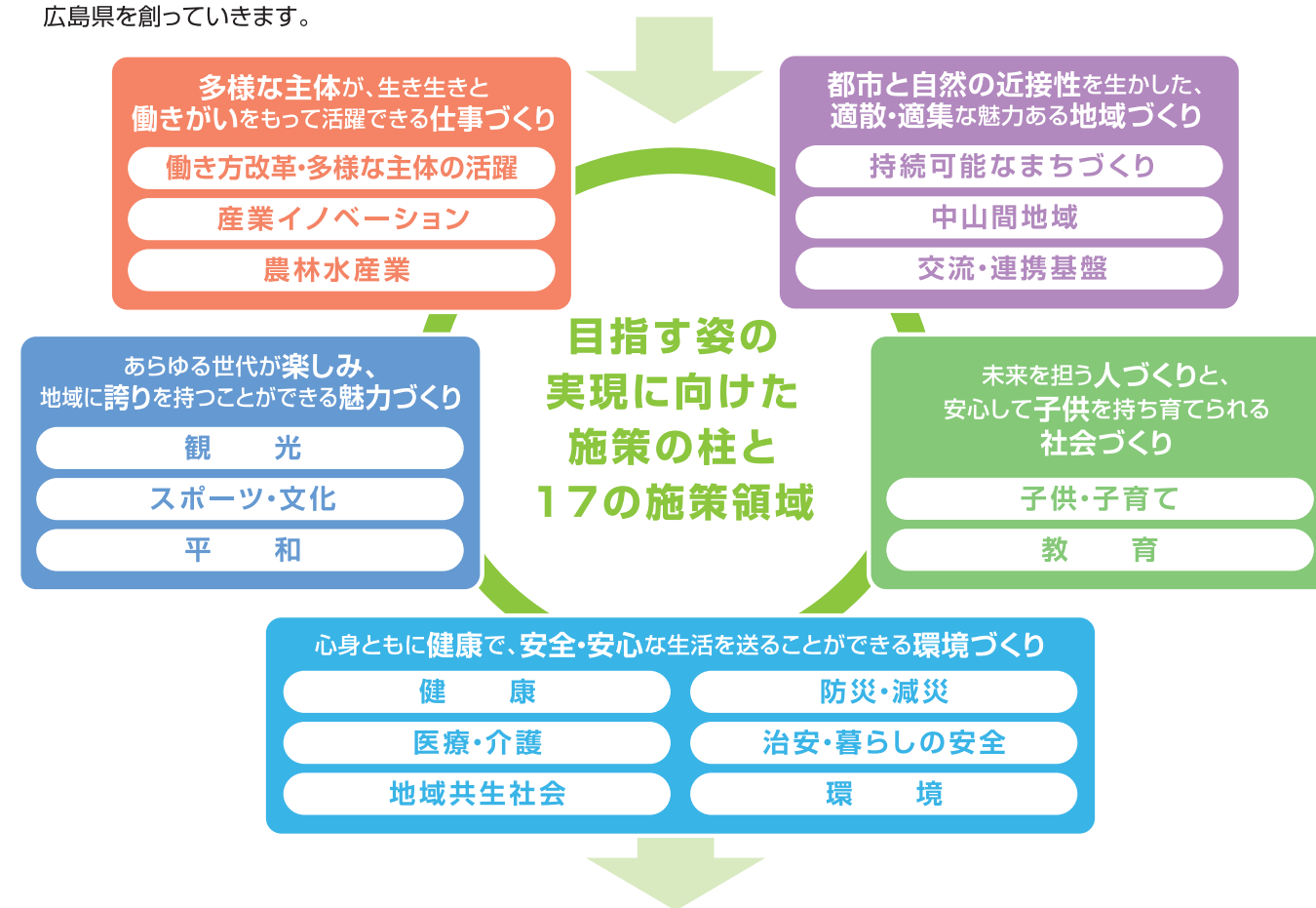
県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれが望むライフスタイルの実現～

【目指す姿の実現に向けた基本的な考え方】（1）県民の挑戦を後押し（2）適散・適集な地域づくり

目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性

シン・ファミリーフレンドリー
“家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

本県の魅力を高め、様々な家族が暮らしやすい社会を実現することは、誰にとっても暮らしやすい社会につながります。ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても、魅力的に感じてもらえる「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。



今後5年間で特に注力する重点項目

若者に選ばれる広島県 女性に選ばれる広島県 子育てしやすい広島県

強固な社会経済基盤の確立

広島県の財産と経験の継承

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」している広島県の実現

